

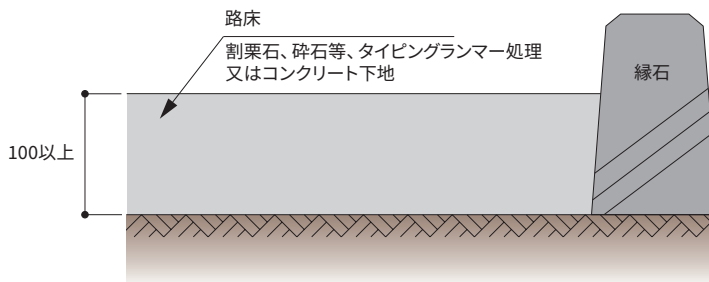
スロームウッド ウッドペイブ 施工方法 300角30厚の場合

1 路盤締固め、レベル出し

- 路床は厚さ10mm以上のとし、締固めと平滑性を十分に確保します。

※不十分な場合、ウッドペイブの沈下や不陸の原因となります。

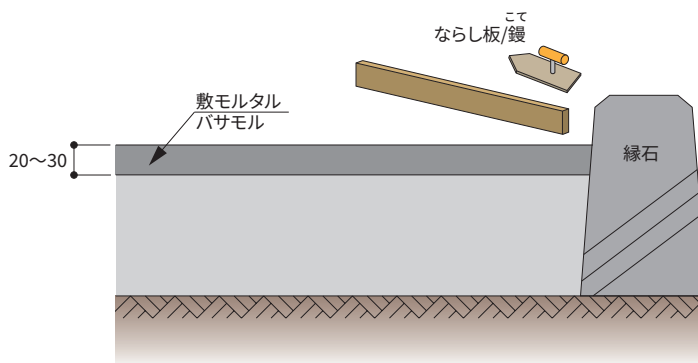
- エッジになる縁石等に合わせて水系を張り、施工位置を設定します



2 バサモルタル敷きならし

- 締固めた下地の上に、沈みしるを加味した厚さになるようにバサモルタルを敷き、ならし板や鏝で平らにならしします。

- 仕上材となるウッドペイブの厚さは30mmです。

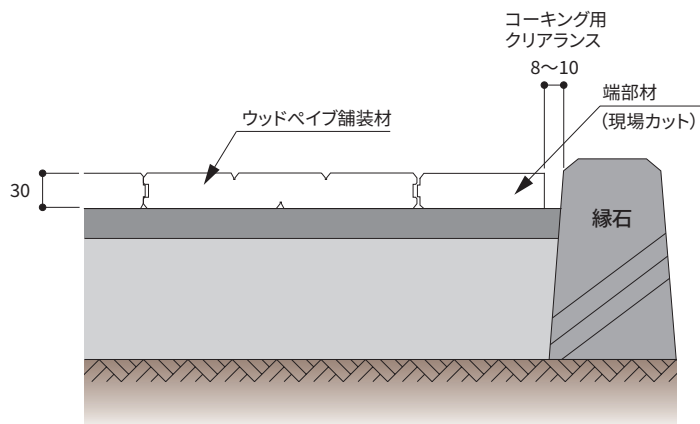


※バサモルタル=硬練りのモルタル

3 ウッドペイブ敷設

- 割付図面に従って、設定された基準線からウッドペイブを敷設していきます。
- 両面使用が可能です。
- ウッドペイブは凸部と凹をかみ合わせるように、目地ラインを揃え、水平器を使用し、ゴムハンマーで叩きながらレベル調整し仕上げます。
- 端部材は現場合わせカットで処理します。木工用チップソーでカットが可能です。小さな端部材はなるべく使用しないでください。
- ウッドペイブ設置寸法が1辺5mを超える場合、ボーダー材又は伸縮目地材（10mm程度）の設置が必要です。

※梱包養生用エッジボードを目次スペーサー（2mm）として使用することも可能です。



4 端部処理

- ウッドペイブにガタツキがないことを確認します。

- 最後に縁石とウッドペイブの端部材の隙間に弾性シール材又は弾性目地材（エラストイト等）を設置します。

